

架空請求詐欺

「有料サイトを利用したのでお金を払え」「延滞料金が発生している」などと架空の事実を口実として料金を請求される手口。

融資保証金詐欺

融資を誘っておきながら融資を申し込んできた者から保証金等を名目に現金をだまし取る手口。

還付金等詐欺

社会保険事務所の職員や自治体の職員等を名乗って年金や税金、医療費などの還付手続きがあるかのように装ってATMから犯人口座へ振り込ませる手口。

ロト6詐欺

「事前に当選番号を教える」などと言い、情報料などと称して現金をだまし取る手口。

義援金名目詐欺

震災などに便乗して義援金名目で現金などをだまし取る手口。

詐欺の二次被害

詐欺被害の救済を語って近づき、さらに別の株の購入や手数料を求めてくる手口。 など

みんなで防ごう！高齢者詐欺！

■日頃から高齢者の様子を気にかけて！

高齢者の中には、他人の言うことを疑わず簡単に信用してしまう方や、だまされたことに気づかない方も多く見られます。また、被害に遭ったことに気がついて、「恥ずかしい」「他の人に迷惑をかけたくない」などの理由で、誰にも相談しない場合が少なくありません。

高齢者が詐欺に遭わないためには、高齢者ご本人が問題意識を高めるとともに、家族や周りの方々が、日頃から高齢者の様子を気にかけて、見守っていく必要があります。

そのためには、普段から家族の中で、詐欺の手口や被害について題材にし、注意するよう呼びかけることが大切です。不審な電話や訪問を受けたときの対応の仕方や相談窓口なども話し合っておきましょう。

また、身近で日常的に接している人たちが高齢者の変化に気づき、相談機関につなぐことも重要です。最近では、高齢者の一人暮らしなども多くなっています。その場合は、民生委員など地域の関係者や介護などで自宅を訪れる介護職の方、宅配業者や金融機関などの事業関係者が連携をとって、「見慣れない人物が出入りしている」「見慣れない段ボールや新しい商品を見かける」「お金に困っていそう」「大金を下ろそうとしている」といった不審な行動などがあるかどうか、見守りを行い、声をかけて相談にのるなどしましょう。

■未然ポイント4ヶ条！

さっそくやってみよう！

□ 日頃から家族でよく話し合う。

□ 電話でお金の話をしないと約束しておく。

□ 家族で事前に「合言葉」を決めておく。

□ 常に「留守番電話」に設定してもらう。

